

テーマ

**地域の宝を育てる応援団 -SAKURA ネットワーク-**

目標

～15歳の春に豊かな花を咲かせるための協働～

## 今年度の取組紹介

地域合同行事として、本年度も6回目を迎えるSAKURA 夢フェスタVIを開催することができました。今年は天理大学からダンス部が演技を披露し、SAKURA ドリームスクール英会話教室からの英語劇、都南中から吹奏楽部の演奏などが行われ、地域と都南中学生がともに同じ空間を共有することができました。

午後からは地域各団体による模擬店や都南中からも毎年恒例となってきたカレー都南を出店し地域と生徒が一体となって取り組むことができました。



コミュニティールームの運営としては、本年度もSAKURA ドリームスクールの運営支援をおこないました。着付け教室・英会話教室・編み物教室・マネープラン教室の4つの教室を開催し地域からもたくさんの方々が都南中学校を訪れていただきました。



## 今年度のまとめ

SAKURA ネットワークの取組みにおける成果ですが、SAKURA ドリームフェスタでは、カレー都南を都南中学生と共に運営することで、みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく生徒が増えてきました。あわせて地域から都南中学校に目を向けていただく地域の方が増え、来校していただいた方々がふえました。また普段の都南中学校をもっと知っていただきたいという思いから始まったSAKURA ドリームスクールでは、4つの講座に約50の方が参加していただき、本年度は着付け教室で、夏休みの燈花会や采女祭りに中学生と一緒に浴衣の着付けを地域の方と行おうという計画を立て呼びかけもおこないました。

## 来年度に向けて

SAKURA ネットワークの活動をドリームスクール参加者に対しても、もっと知ってもらうための取組みの充実を目指したいです。学校の方へは、児童・生徒の方から自主的に地域行事に参加できる体制をつくっていただけるよう要望することが来年度の課題として挙げられます。

テーマ

## 地域に開き、地域と共につくる学校

目標

- 学び合い、共に高め合う学級集団を基本とした「学びのスタイル（都南スタイル）」のさらなる定着と深化による学力向上
- 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上
- 生徒・教師・保護者・地域の協働の推進
- 保護者・地域から信頼される開かれた学校づくりの推進

### 今年度の取組紹介

重点的な取り組みとして、まず、「学校環境の整備」があります。校舎内外の修繕や清掃活動さらには花壇運営（菊栽培）など、様々な取組がなされています。子どもたちが地域に出向き清掃活動を行う「クリーンキャンペーン」も実施しています。また、学習環境と言う意味では、「図書館運営」も地域のボランティアの方々によって行われています。次に、地域の方に学校へ来てもらう機会を増やす取組として、公開授業や体育大会や文化発表会があります。

特に体育大会は地域の方にただ見に来てもらうだけでなく、地域と共催することで運営に参加、協力していただき、より学校についての理解を深めてもらう良い機会となっています。さらに「ギャラリー都南の森」事業では、中学生の作品はもちろん、地域の方の作品や校区内の小学校や幼稚園、子ども園の児童、園児の作品を展示し、地域と学校、中学校と小学校、幼稚園、子ども園の交流に役立てています。



環境整備（菊栽培）



クリーンキャンペーン

### 今年度のまとめ

校舎内外が整備されて自分たちの学習環境が整えられていることを実感し、自分たちのために活動をしてくれている地域の方々の姿を見ることとで、生徒たちの心に「私たちも何か地域に対してできることはないか」という思いが芽生え、校区に出向いて清掃活動を行う「クリーンキャンペーン」という取組につながっています。

### 来年度に向けて

来年度も今年度同様、「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマとし、保護者、地域、学校の協働をよりいっそう推進できるよう（特に生徒が積極的に参加できるよう）に取り組んでいきたいと考えています。

テーマ

## 子ども力育成プロジェクト

目標

—関わり合いを通して豊かな学びを育む—

### 今年度の取組紹介

「子ども力」とは、未来に向けてや憧れをもって、その子なりに発揮できる力と考えています。そこで、子どもたちが多くの人と関わり、子どもたちの「熱中する力」「好奇心を抱く力」の育成を進めるための事業を学校と地域が協働し、計画し活動を進めました。地域の方々による校地内の草刈りや剪定、花植え、運動場の整地などで学校の環境整備は年々進んできています。ここでは、「東市まるごと子ども通学合宿」と「絵本のひろば」を紹介します。本校では、地域支援事業のボランティアの方々や奈良教育大学の学生ボランティアとの協働で、TNP（東市日本一プロジェクト）を立ち上げ、通学合宿をはじめ、放課後子ども教室「まなびーや」の事業を進めています。今年度は、奈良佐保短期大学の学生ボランティアも通学合宿に参加しました。「通学合宿」は、6月29日～7月4日の1週間、地域の施設に宿泊し、共同で生活や学習を行い、学校に通うというプログラムです。6回目を数える今年のテーマは「協一みんなで力を合わせて」で、参加した児童は、買い出しや食事作り、掃除や洗濯などの日常生活の中でお互いの良いところを見つけ合い、自分への自信をもつことができるようになりました。



「絵本のひろば」では、地域のボランティアの方々や3日間学校に来ていただき、子どもたちに本を読んでくださいました。ただ読書するというだけでなく、子どもたちが温かくやわらかい雰囲気の中で絵本を読んでいただくという時間を得ることができました。

### 今年度のまとめ

今年度の事業も東市小学校運営委員会で話し合いを重ね、学校と地域との連携・協働による事業を計画・立案し、実施してきました。様々な事業にたくさんの地域の方々に参加していただくことができました。「環境整備事業」では、地域の方々や職員とがいっしょに活動しやすい時間帯に作業を設定し、共に汗を流し、学校の環境の充実が図られ、地域との連携も深まりました。

「東市まるごと子どもフェスタ」では、その名の通り東市校区全体で子どもたちのためにと事前の打合わせから熱心に取り組んでくださり、地域との一体感を感じることができました。

### 来年度に向けて

ここまで継続され軌道に乗ってきている事業を改善しながら発展を目指していきたいと考えています。そのためには、地域のボランティアの登録数を増やし、支援事業に関わっていただけるようにしていきたいと思っております。また、学校の職員と地域の方々との連携も深めていきたいと思っております。

テーマ

## 今日が楽しくて明日が待ち遠しい学校

目標

学力向上に向けて、豊かな心を育み、規範意識を醸成する。

### 今年度の取組紹介

#### ○児童の安全指導事業（安全見守り活動・校区探険付添）

登下校の見守り活動では、一人で下校している児童に声かけをして、家の近くまで送ってくださったり、いつもの児童がまだ下校していないと学校に連絡して下さったりするボランティアの方もおられました。

#### ○環境整備事業

白菜・大根・さつまいも・あずきなどを地域の方に協力して栽培していただき収穫した野菜で、豚汁やぜんざいを作り、地域活動でふるまいました。また、夏のペンキ塗りでは、図工室・家庭科室のペンキ塗りをしました。

#### ○学習支援活動事業

生活科、社会科、家庭科、総合等で協力いただき、なかでも「昔の遊び体験」「農機具体験」では、民生児童委員、万年青年クラブからたくさんの方が参加があり、児童に教えてくださいました。

#### ○読書力向上事業

絵本の読み聞かせボランティア「お話ドラゴン」のみなさんが週一回、朝の学習時間を使って絵本の読み聞かせをしてくださり、本好きな児童が増えました。児童の読書力向上へつなげたいです。

#### ○学校行事支援事業

冬の集いでは、地域の伝統行事の千本づき（お餅つき）を披露し、児童に餅つき体験をさせていただきました。また、運動会やマラソン納会では、応援と共に準備や安全見守り活動をして下さり、児童のやる気や根気力のアップに一役買ってくださいました。



### 今年度のまとめ

今年度も地域の方々に様々な面でご協力いただきました。2月のなかまの日、聞き取り活動で知ったボランティアの方の苦勞・思い・願いを、2年生が全校児童に向けて伝えました。この紹介をきっかけに、朝のあいさつ運動など自分たちができることを提案する児童が出てきました。そして、ありがとう集会では、その気持ちをボランティアの方々の代表者に伝え、感謝の気持ちを込めて作ったプレゼントを渡すことができました。活動ボランティアの固定化や高齢化が進んでいる現状があります。個別のつながりによる広がりにはたよるだけでなく、今後は、広報誌などを活用し、広く地域全体に協力いただけるように依頼していき人材確保に努めたいです。

### 来年度に向けて

運営委員会を中心に、多様化してきた活動内容の整理をし、段取り良く活動ができるようにしたいです。また、人材確保の面では、地域ボランティアネットワーク（仮称）を立ち上げ、学校とボランティア、ボランティア同士の連携を深めていくことが、人材の確保につながると考えます。さらに、活動の前後に、短時間であっても打合わせやふりかえりの時間を設定することで、交流の場をもち活動の活性化を図りたいです。

テーマ

**「やさしく、かしこく、力もち」の明治っ子**

目標

- お話の会や読み聞かせの取組から本好きな子に
- 言語教育活動（読む力を高め、確かな学力へ）の充実
- みんなで花いっぱい为学校づくり
- 体育や外遊びの充実から運動好きな子に

**今年度の取組紹介**

- 言語教育活動（読む力を高め、確かな学力へ）の充実

学力向上の目標を達成するため、今年度は言語教育活動を中心に据え、読む力を高め、確かな学力に結び付けるため、地域から様々な協力を得ながら取組を進めてきました。国語の授業力を高めるための職員研修や郷土への愛着と貢献、また高い人権感覚を養うための学習会など様々な取組を進めてきました。地域消防団と連携した防災教育、社会福祉協議会の皆さんの協力による車いす・アイマスク体験学習など、地域と共にある学校として子どもたちに豊かな心を育むことができました。



- お話の会や読み聞かせの取組から本好きな子に

朝のチャレンジタイムの読書タイムに加え、地域の方を講師に迎え、全児童対象の「お話の会」1年生対象の「本の読み聞かせ会」など定期的に年間を通して行ってきました。読書好きの子どもたちを育てるため、それらの機会を増やすとともに、その活動に使用する図書整備も進めていくことができました。



- みんなで花いっぱい为学校づくり

地域の方々の協力のもと、教職員・児童が主体的に環境整備に関わって取り組み、年間を通して花いっぱい为学校づくりをめざしてきました。PTA・地域の方々には花壇整備だけでなく、校庭の樹木整理、草引きなども協力いただき、学習環境整備に尽力いただきました。



- 体育や外遊びの充実から運動好きな子に

放課後子ども教室や地域の方々の運営のもと行ったミニ運動会など、地域の方々と共に楽しみながら健康・体力づくりに取り組みました。

**今年度のまとめ**

地域の方々の協力のもと、目標に沿って、各事業を計画通り進めていくことが出来ました。地域の方からは笑顔で参加してくれる子どもが増えてやりがいもあるとの声もいただき、取組目標に迫る活動ができたと考えています。

**来年度に向けて**

さらに、地域との連携を深め、新たな取組の創設、人材発掘に努め、今後も「地域と共に歩む学校」を目指して取組を続けたいと考えています。

テーマ

**地域とスクラム、学び育ち、輝け帯解っ子**

目標

**地域と連携し、自ら学ぶ意欲をもち、****心豊かでたくましく生きる帯解っ子を育成する。**

## 今年度の取組紹介

学習活動の中に聞き取り学習や体験・交流学习、栽培活動を組み込み、地域の方々をゲストティーチャーとして招き、地域についていろいろなことを学んで生まれ育った地域に誇りをもてる子どもを育てていきたいと考え取り組んできました。今年度、精華小学校と帯解小学校は統合しましたが、学校教育に対して協力的で、児童が地域の宝と考える方々が両地区にたくさんおられます。

地域の方からの聞き取り学習では、4・5・6年生が戦争の体験談や盲導犬の学習、在日外国人の方の話など、様々な方の苦勞や願いを聞き、人としての物の見方や考え方を学びました。

地域の方との体験・交流学习では、1・2年生は、万年青年クラブの方々から色々なコーナーに分かれて昔からの正月の遊びを教えていただき、昔遊びの技を体験しました。また、こども園の園児と一緒に水仙の球根を植え交流も深まりました。3年生は、校区探検で自分たちの住んでいる地域について教えていただきました。今まで知らなかったことがわかるようになり、地域のよさにも気づきました。3年生は、干柿作りの体験もさせていただきました。柿をむくのは初めてという子も地域の方に教えていただけてうまくむくことができました。毎年、社会福祉協議会のお世話で餅つき大会をしてもらっています。千本杵で餅をつき、つくたてのお餅をおいしく頂きました。

栽培活動では、花・野菜・米を学級園や地域の方から借りた田で栽培し、作り育てる苦勞や収穫の喜びを体験しました。米や野菜を育てるのは、食育教育の一環としての成果がありました。また、花や野菜を育てることで、しっかり観察して大事に育てようと思う心が育ち、豊かな感性を育てるのに大いに役立ちました。



## 今年度のまとめ

地域の方との様々な体験・交流や聞き取り学習は、児童にとって知見を広げ、地域の人とのつながりを広げ、豊かな感性を育てることにつながりました。また、栽培活動を通して、花や野菜をしっかり観察して大切に思う心が育っています。これらの地域の方との活動に、児童は「親切に教えてくれるのでよくわかるし楽しい。」と答えています。教育活動の様々な場面で、地域の方々に支えられながら児童は育っています。

## 来年度に向けて

両地区のよさを生かした取組をさらに進め、地域の中で学び、地域に誇りをもてる児童の育成を目指していきたいです。

テーマ

**地域と共にキラリと輝く東市の星**

目標

**健康な心と体の育成をめざして**

## 今年度の取組紹介

本園は田畑・森林が広がる自然豊かな住宅混在地域に位置し、園児9名の少人数で家庭的な雰囲気、園生活を送っています。奈良クラブのコーチの力を借りて『ランランサッカー』を年に3回実施し、友達とボール遊びやボール蹴りから始まり、3回目にはチームに分かれてサッカーを楽しみ、ルールを守りながら友達と力を合わせることや体を動かす心地良さを味わうことができました。

また、素敵なコーチと触れ合い、親しむ中で、自分からかかわろうとする姿も見られ、憧れの気持ちをもって、サッカーが好きになる幼児もいました。



『マジックショー』では、地域の聴覚障がいのゲストティーチャーにいろいろな楽しいマジックを見せていただきました。何が始まるのかワクワクしながら、未就園児や地域の方々と一緒に笑ったり驚いたりしながら、通訳の方の手話にも興味をもって見ていました。

『エンジョイ・イングリッシュ』では、年に3回小学校に来られるハローイングリッシュの先生に来ていただき、遊びの中で英語に親しみました。

英語による歌や手遊び、絵本やゲームなどをしていただき、最初はキョトンとしていた幼児も、先生の言葉や話に慣れて、喜んで参加しています。その様子を保護者や地域の方々にも参観していただきました。



## 今年度のまとめ

年間を通して実施している「未就園児保育」「絵本読み聞かせ」「体操遊び」「リトミック遊び」「親子茶道教室」「美化活動」などは、地域の方の専門性を生かし協力と支援を得て、いろいろなことを教えていただき、生き生きわくわくしながら生活することができました。又、今年からの事業『ランランサッカー』『マジックショー』『こねこね陶芸教室』『エンジョイ・イングリッシュ』なども、園児や保護者にとって心に残る大事な事業となりました。未就園児の親子登園を通じて、在園児と一緒に遊び、相手を思いやる優しい心や自信となり、園内の活性化や地域の交流の場となりました。

今後も地域との連携を定着発展するようにしていきたいです。

## 来年度に向けて

今年度、実施した取組をさらに工夫し、新しく取り入れた4つの事業や2年目になる「リトミック遊び」「地域力を生かした環境整備」も好評なので来年度も継続したいと考えています。今後も少人数を生かして地域力を最大限に活用し、地域の幼稚園として期待に応えられるように努め、地域や家庭、他校園と連携しながら発展していきたいです。

テーマ

**「明治っ子 わくわくだいさくせん」****～地域とのかかわりや****「ひと・もの・こと」とのつながりの中で～**

## 今年度の取組紹介

奈良の瓦職人の方を講師に招き、“瓦粘土”で「わくわく粘土教室」を実施。ぬるぬるした感触に、最初は、遠慮気味に触っていた子どもたちも「やわらかい」「すべすべしている」等口々に言いながら作ることを楽しみ出した。その感触を体で感じ、のばす・まるめる・ひねりだす・こねる・ねじる等の技法を使いながら一人一人がイメージを広げて制作活動を楽しみ、うさぎやへびなど自分の好きな動物やロケットや花瓶等いろいろな作品づくりを楽しんだ。乾燥期間をおいて、窯で焼き作品として園内作品展に展示し、保護者・地域の方々等たくさんの方々に見ていただいた。保護者の方々からも「子どもの指の跡が残っていて一生懸命作ったことが感じられて、とても素敵な作品でびっくりしました。大切に家に飾っておきたいと思います」などの感想が寄せられた。また、園児と保護者だけでなく地域・未就園児も参加した土曜参観“ふれあい体操”では、共に体を動かして遊び、その心地



よさや触れ合って遊ぶ楽しさを感じることができました。

今年度は、園舎の耐震工事をしていただき、完成を記念して園児達や幼稚園をいつも温かく見守っていただい



ている自治会・民生員等地域の方々を招待して、お茶会を開催。新しくなった保育室を見ていただき、園児達の案内で園内作品展も見学していただきました。

## 今年度のまとめ

- ・「わくわく粘土教室」は、瓦職人の方のお寺の鬼瓦の話等奈良の文化のお話も聞き、瓦粘土独特の感触を味わいながら制作を楽しみ、炉で焼きあげ黒く艶のある作品に仕上がった。作品は、園内作品展で展示、「個性溢れる作品に子どもたちの成長を感じます」等の感想をいただきました。
- ・栽培活動や環境整備に新たな地域の方に協力者として参加していただき、園の様子を気にかけて作業日以外も足を運んでくださる等、連携を広げ密にしていけることができた。取り組みの中で、幼児たちは生活経験を広げたり、感謝の気持ちをもって人に接したり、園児自らも様々な人にかかわってこうとする力やコミュニケーションしようとする意欲につながりました。

## 来年度に向けて

- ・温かい継続した地域とのかかわり「ひと・もの・こと」とのつながりにおいて、地域の方々の教育力を保育に効果的に取り入れながら、人への感謝の気持ち、自分を取りまく地域・環境を大切に思う気持ち育みながら豊かな心へとつないでいきたいです。



テーマ

**笑顔が輝く辰市幼稚園**

目標

地域の人や様々な人と触れ合い感じる心を豊かにしていく。  
 仲間を大切にし、みんなで育ち合う幼稚園づくりに努める。  
 体を十分動かして遊び、やる気チャレンジする心をもつ。  
 幼稚園、家庭、地域が繋がり楽しい園づくりに努める。

## 今年度の取組紹介

## ＜野菜、大きくなあれ＞

・地域の方に協力していただき栽培活動に取り組んでいる。  
 地域の方から苗の植え方、水やりの仕方、草引きした草を畑にかぶせたり肥料をやったりして大切に世話をすることを教えていただきました。子どもたちは地域の方の温かい人柄を感じ取りながら、興味深く耳を傾け一生懸命世話をし、収穫の喜びを味わいました。生活の中で自然を豊に感じとり、その中に命を感じ、大切にしようとする心が育ちました。



## ＜お客さんから手品のご褒美をいただいたよ＞

・6月には地域の民生さんに風車や折り紙の作り方を教えていただき、歌ったり踊ったりして楽しい時間を過ごしました。そこで音楽会には保護者や民生さんを招いて、子どもたちの歌や合奏を披露するとともに、お客さんにも一緒に歌ったり楽器演奏をしたりしてもらおう機会を設けました。民生さんには、地域にまつわる「千本餅つき」の歌を歌ってもらい、子どもたちは真剣な表情で聴き入っていました。1月の餅つきには、民生さんの「千本餅つきの歌」に合わせて、子ども達は「よいしょ」「よいしょ」とひときわ大きなかけ声で応援し、楽しい餅つき体験に繋がりました。また音楽会当日は、「上手だったね。」と褒めていただき、ご褒美にその場で手品を披露してくださいました。民生さんの温かな人柄を感じ取り、楽しい手品に子どもたちは不思議そうに見入り、種明かしを聞いて大喜びしていました。



## 今年度のまとめ

・年間を通して保護者の方、地域の方、子どもたちが触れ合いより親しみの気持がもてるように機会を設けています。民生さんが「子どもたちが手を繋いで案内してくれるのが嬉しいです。」「道で出会った時に、親子で挨拶してくれますよ。」「この前は歌を聴かせてくれてありがとうと声をかけてくれたんですよ。」と嬉しそうに話されています。保護者アンケート結果でも地域の方の協力に高い評価を頂き、幼稚園・家庭・地域が共に繋がり心に残る豊かな体験を積み重ねる事が出来ました。

## 来年度に向けて

・今年度のさまざまな取組みの中で子どもたちの笑顔が輝き、豊かな心が育まれていきました。よかった事を継続するとともに、更に地域の教育力を生かし地域に根ざした園作りに努めていきたいです。

テーマ

**地域に開かれた幼保連携型認定こども園をめざして**

目標

**園児・保護者・地域が楽しめる園づくりに努める**

## 今年度の取組紹介

## ○ 花壇整備『花をいっぱい咲かせよう』

山町地域環境保全協議会より日々草の花をいただき、9月9日、5歳児34名の子どもたちが地域の方と一緒に植えました。「そーと植えるねん」と大事に苗を持って丁寧に植える子どもたちを地域の方は見守ってくださり、困っている子どもには声をかけながら手助けしてくださいました。そしてそれらの花も使い、地域の華道の先生をゲストティーチャーとして迎え、生け花体験を行いました。生け花体験当日は、家庭や地域からも豊富に花を持参くださり、5歳児の子どもたちは自分で好きな花を選び、想像力豊かに一人一人が楽しみながら生けることができました。また、できあがった作品を園内作品展で飾り、多くの保護者や地域の方に見ていただく機会をもち、好評を得ることができました。子どもたちも喜びを感じ、満足感を味わうことができました。



## 今年度のまとめ

- 幼保連携型こども園となり、今まで保育園、幼稚園にそれぞれにかかわってくださった地域の方がひとつとなりました。その地域力をいかし、生け花体験、地域の方の畑を借りてのサツマイモ苗植えや収穫、焼き芋パーティーなど、子どもにとってはより地域の方と触れ合う機会をもち、豊かな体験ができました。また、子どもたちは次第に来園される地域の方に自分から声をかけるなど、親しみをもってかかわろうとする姿もみられました。
- こども園の教育、保育を地域の方々にご理解していただきながら、多くのご協力を得て、事業や取組が進んだと思います。

## 来年度に向けて

- 引き続き、子どもたち自らが主体的な遊びを展開できるような園庭の環境整備事業、そして地域や保護者の方の協力を得ながら、菜園畑や花壇づくりに努めていきたいと思えます。また、これらの事業や活動を保護者や地域の方へ啓発していきながら、こども園教育、保育への理解をさらに深められるようにしていきたいと思えます。